

INFORMATION

No. 2502-08

報告書変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、下記の項目につきまして、2025年4月1日(火)報告書発行分より、専用報告書の一部を変更させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。
先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒よろしくご了承のほどお願い申し上げます。

謹白

記

■対象検査項目

コード	検査項目名
4473	MCIスクリーニング検査プラス

※なお、本変更は文言変更を中心としたもので、結果判定方法や解釈に関する変更はございません。

※新報告書のPDFは、下記2次元コードあるいは以下URLからもご覧いただけます。

<https://www.premedica.co.jp/wp-content/uploads/2025/01/mcis.pdf>



■変更日

2025年 4月 1日(火) 報告書発行分より

株式会社 武蔵臨床検査所

* お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659
URL <http://www.e-musashi.co.jp>

MCIスクリーニング検査プラス報告書の主な変更点

以下のとおり、結果情報および提供情報のレイアウト・デザインを変更し、より受検者に理解いただきやすい報告書様式へリニューアルさせていただきます。

変更箇所の詳細は下記と次項別紙、および2次元コードのリンク先の報告書サンプルをご参照ください。

①P2: 検査結果の配置・デザイン変更

受検者の総合評価、MCIリスク値、個別の4カテゴリに関するリスクレベルを同一枠内に収め、自身の結果情報を一目で認識できるようレイアウトを変更します。

また、評価と数値部分をより識別しやすくするため表記を赤文字に変更いたします。

②P2: 受検者向けサイト「My MCIプラス」の紹介

受検者向けの情報サイト(<https://mci-plus.com/mymciplus-lp/>)の案内を下段に掲載いたします。

サイト内では、より詳しい検査内容の解説や認知症の予防のためのヒントなどもご紹介しております。

③ P4: 検査後の行動変容に関する情報の配置変更

検査後の行動変容を促すために文言を変更いたします。また、次回検査の目安日に関する記述を結果ページ下段より最終ページに変更いたします。

テスト ハナコ 様 MCIスクリーニング検査プラス 結果報告書

総合評価

あなたのMCIリスク値 **0.88**

B評価

あなたのMCIリスクは低めです。健康的な生活を積極的に習慣づけることでMCIのリスクを減らすことができます。

評価	リスク値	説明
A	0.00~0.50	現在の生活習慣を継続し、健康的な日常生活を心がけましょう。ご自身の状態を定期的に観察して予防に努めましょう。
B	0.51~1.00	健康的な生活を積極的に習慣づけることで、MCIのリスクを減らすことができます。予防は早く取り回すことが重要です。引き続き予防に努めましょう。
C	1.01~1.50	【中年層の方】現在の生活習慣を改善し、予防に努めましょう。【高齢の方】生活習慣を見直し、予防に取り組みましょう。「認知症予防マニュアル」や「認知症予防啓発サイト」をご覧ください。
D	1.51~2.00	【中年層の方】このままの生活習慣が続くと将来的なMCIのリスクが高まります。【高齢の方】生活習慣改善のために「認知症予防マニュアル」や「認知症予防啓発サイト」をご覧ください。もとの状態の改善を目指すための医師の指導をおすすめします。

本検査ではアルツハイマー型認知症の発症に關するタンパク質の量を測定することでMCIのリスクを判定しています。またそのタンパク質を4つのカテゴリーに分けてリスクレベルを表示しています。

4つのカテゴリーにおけるあなたのリスクレベル

カテゴリー	リスク値
全体的	3.2
脳内での	2.8
血管・免疫系	5.0
認知症予防	1.6

検査を終えて

次回検査は2024年の1月頃を目安に検査を受けましょう。

MCIスクリーニング検査プラス 結果報告書

テスト ハナコ 様の評価

あなたのMCIリスク値 **0.88**

B評価

MCIのリスクは低めです。健康的な生活を積極的に習慣づけることでMCIのリスクを減らすことができます。

テスト 様の4つのカテゴリーにおけるリスクレベル

カテゴリー	リスク値
全体的	2.2
脳内での	3.0
血管・免疫系	1.9
認知症予防	1.3

総合評価の説明

評価	リスク値	説明
A	0.00~0.50	現在の生活習慣を継続し、健康的な日常生活を心がけましょう。ご自身の状態を定期的に観察して予防に努めましょう。
B	0.51~1.00	健康的な生活を積極的に習慣づけることで、MCIのリスクを減らすことができます。予防は早く取り回すことが重要です。引き続き予防に努めましょう。
C	1.01~1.50	【中年層の方】現在の生活習慣を改善し、予防に努めましょう。【高齢の方】生活習慣を見直し、予防に取り組みましょう。「認知症予防マニュアル」や「認知症予防啓発サイト」をご覧ください。
D	1.51~2.00	【中年層の方】このままの生活習慣が続くと将来的なMCIのリスクが高まります。【高齢の方】生活習慣改善のために「認知症予防マニュアル」や「認知症予防啓発サイト」をご覧ください。もとの状態の改善を目指すための医師の指導をおすすめします。

~WEB会員サービス「My MCIプラス」が始まりました~

- 測定しているタンパク質の値がわかります
- あなたの結果にあわせて予防法がわかります
- あなたと同世代の検査結果を比べられます

登録はこちらから

次回検査受診の目安

MCIスクリーニング検査プラスは、多くの方に継続して受けていただいています。生活習慣や加齢により数値が変化しますので、年に1回の受診をおすすめします。次回検査は2025年の8月頃を目安に検査を受けましょう。

①P2: 検査結果の配置・デザイン変更
②P2: 受検者向けサイト「My MCIプラス」の紹介

MCI (軽度認知障害) について

◆ 健常の状態から認知症を発症するまでの間の段階であるMCI (軽度認知障害)、認知症予備軍といわれ、そのまま進めると約5年でその半数が認知症に移行してしまつていわれています。

◆ アルツハイマー型認知症は、発症する20年以上前から原因の一つといわれているアミロイドが脳内に溜まりはじめ、認知機能が少しずつ低下してきます。

検査結果は予防のヒントです

アルツハイマー型認知症は一度発症してしまうと健康に戻る事が難しいといわれています。しかし、MCIの段階で適切な予防を行うと、発症を遅らせたり食い止めることができると最近の研究がわかってきています。検査結果でも高齢になるにつれてMCIや認知症のリスクは高くなります。検査結果が気になる方は、生活習慣を見直し予防に取り組みましょう。

MCI・認知症を予防する

運動をする、バランスの良い食事、ぐっすり眠る

生活習慣の改善がMCI・認知症予防に有効です。

認知症予防に取り組むための別冊資料「認知症予防マニュアル」や「認知症予防習慣」サイト (https://ninchishoyobo.com/) をご覧ください

健康診断におなじように定期的に検査を受けることで自身の変化に早い段階で気づきましょう。

＜注意事項＞

- 本検査はアルツハイマー型認知症の初期段階であるMCI (軽度認知障害) のリスクを統計的に判定するもので、早期発見するためのスクリーニング検査です。MCIであるかどうかの診断結果を出すものではありません。
- 認知症の最大リスクは加齢です。20~30歳代の検査結果についてはMCIには異なる原因による影響を考慮した評価が必要です。
- 本検査は自己免疫性疾患をお持ちの方、急性炎症が認められる方、肝臓薬の方、女性性ホルモン剤の方は、検査結果の判定に影響する可能性があります。

MCI (軽度認知障害) について

◆ 健常の状態から認知症を発症するまでの間の段階であるMCI (軽度認知障害)、認知症予備軍といわれ、そのまま進めると約5年でその半数が認知症に移行してしまつていわれています。

◆ アルツハイマー型認知症は、発症する20年以上前から原因の一つといわれているアミロイドが脳内に溜まりはじめ、認知機能が少しずつ低下してきます。

生活習慣の改善が認知症予防に有効

運動をする、バランスの良い食事、ぐっすり眠る、趣味を楽しむ

検査結果は予防のヒントです

アルツハイマー型認知症は、一度発症してしまうと健康に戻る事が難しいといわれています。しかし、MCIの段階で適切な予防を行うと、発症を遅らせたり食い止めることができると最近の研究がわかってきています。MCIスクリーニング検査プラスを2年以上受け続けた方々の42%の方は数値が改善しておりますので、今回検査で低リスクを、予防のきっかけとしてとらえましょう。

次回検査受診の目安

MCIスクリーニング検査プラスは、多くの方に継続して受けていただいています。生活習慣や加齢により数値が変化しますので、年に1回の受診をおすすめします。次回検査は2025年の8月頃を目安に検査を受けましょう。

＜注意事項＞

- 本検査はアルツハイマー型認知症の初期段階であるMCI (軽度認知障害) のリスクを統計的に判定するもので、早期発見するためのスクリーニング検査です。MCIであるかどうかの診断結果を出すものではありません。
- 認知症の最大リスクは加齢です。20~30歳代の検査結果についてはMCIには異なる原因による影響を考慮した評価が必要です。
- 本検査は自己免疫性疾患をお持ちの方、急性炎症が認められる方、肝臓薬の方、女性性ホルモン剤の方は、検査結果の判定に影響する可能性があります。

③ P4: 検査後の行動変容に関する情報の配置変更